

表1 学習・教育到達目標と基準 1(2)の(a)～(i)との対応

(2013, 2014 年度卒業生)

各学習・教育到達目標 [(A)、(B)、(C)---] が基準1の(2)の知識・能力 [(a)～(i)] を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入する。

学習・教育目標	(a)	(b)	(c)	(d)			(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
				(2)	(3)	(4)					
(A)	◎	◎									
(B)			◎								
(C)				◎	◎	◎					
(D)					◎	◎					
(E)								◎			
(F)							◎		◎	◎	◎

- (A) コンピュータ技術が社会・自然に及ぼす影響・効果を理解し、情報処理技術者としての責任を自覚する。
- (B) 情報処理技術者として必要な純粋数学と情報数学を理解し、それを応用する能力を育成する。
- (C) コンピュータサイエンスを理解し、効率の良い情報システムを設計する能力を育成する。
- (D) プログラミング言語の諸概念を理解し、実践的なプログラミング能力を育成する。
- (E) 他人に対して日本語を使って、文書・口頭により情報を正確に伝達でき、有意義な議論を行う能力を育成する。また情報処理技術者としての英語の基礎能力を育成する。
- (F) 与えられた問題に対して、自発的に情報収集を行い、解決する能力を育成する。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
- (c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを活用する能力
- (d) 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを活用する能力
2. コンピュータ、ソフトウェア、情報等に関する工学教育プログラムにおいては、論理回路、情報理論、データ構造などの知識とそれを組み合わせた応用能力
 3. プログラムの学習・教育到達目標に適合するハードウェア、ソフトウェア、又はその両方で構成される複雑なシステムに必要な知識
 4. プログラムの学習・教育到達目標に適合するハードウェア及びソフトウェアに関する実験を計画・遂行し、データを正確に取得・解析し、工学的に考察し、かつ説明する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

表1 学習・教育到達目標と基準 1(2)の(a)～(i)との対応

(2015 年度卒業生)

各学習・教育到達目標 [(A)、(B)、(C)---] が基準1の(2)の知識・能力 [(a)～(i)] を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入する。

学習・教育目標	(a)	(b)	(c)	(d)			(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
				(2)	(3)	(4)					
(A)	◎	◎									
(B)			◎								
(C)				◎	◎	◎					
(D)					◎	◎					
(E)								◎			
(F)							◎		◎	◎	◎

- (A) コンピュータ技術が社会・自然に及ぼす影響・効果を理解し、情報処理技術者としての責任を自覚する。
- (B) 情報処理技術者として必要な純粋数学と情報数学を理解し、それを応用する能力を育成する。
- (C) コンピュータサイエンスを理解し、効率の良い情報システムを設計する能力を育成する。
- (D) プログラミング言語の諸概念を理解し、実践的なプログラミング能力を育成する。
- (E) 他人に対して日本語を使って、文書・口頭により情報を正確に伝達でき、有意義な議論を行う能力を育成する。また情報処理技術者としての英語の基礎能力を育成する。
- (F) 自主的かつ継続的に学ぶ能力、およびエンジニアリング・デザイン能力の育成を目指す。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
- (c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを活用する能力
- (d) 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを活用する能力
 - 2. コンピュータ、ソフトウェア、情報等に関する工学教育プログラムにおいては、論理回路、情報理論、データ構造などの知識とそれを組み合わせた応用能力
 - 3. プログラムの学習・教育到達目標に適合するハードウェア、ソフトウェア、又はその両方で構成される複雑なシステムに必要な知識
 - 4. プログラムの学習・教育到達目標に適合するハードウェア及びソフトウェアに関する実験を計画・遂行し、データを正確に取得・解析し、工学的に考察し、かつ説明する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

表1 学習・教育到達目標と基準 1(2)の(a)～(i)との対応

(2016 年度以降の卒業生)

各学習・教育到達目標 [(A)、(B)、(C)---] が基準 1 の(2)の知識・能力 [(a)～(i)] を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入する。

学習・教育目標	(a)	(b)	(c)	(d)			(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
				(2)	(3)	(4)					
(A)	◎	◎									
(B)			◎	◎							
(C)				◎	◎	◎					
(D)					◎	◎					
(E)								◎			
(F)						◎	◎				
(G)									◎	◎	◎

- (A) 文化、社会、歴史、国際関係等の地球的視点から多面的にものごとを考える素養を身につけ、情報処理技術がそれらに及ぼす影響を知り情報処理技術者としての責任を自覚する。
- (B) 情報処理技術者として必要な数学、情報数学及び自然科学を理解し、それを応用する能力を育成する。
- (C) コンピュータサイエンスを理解し、効率の良い情報システムを設計する能力及び、それらを応用する能力を育成する。
- (D) プログラミング言語の諸概念を理解し、実践的なプログラミング能力を育成する。
- (E) 他人に対して日本語を使い、文書・口頭により情報を正確に伝達でき、有意義な議論を行う能力を育成する。またコンピュータエンジニアとして必要な英語の基礎能力及び情報リテラシー能力を育成する。
- (F) 社会の要求を解決するために、問題分析、解決法の提案を行い、それに対応する情報システムを構築し解決する能力を育成する。
- (G) エンジニアとして必要な、自主的かつ継続的に学ぶ姿勢を身につけ、計画的に仕事を進めまとめる能力、および他人と協調する能力を育成する。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
- (c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを活用する能力
- (d) 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを活用する能力
 2. コンピュータ、ソフトウェア、情報等に関する工学教育プログラムにおいては、論理回路、情報理論、データ構造などの知識とそれを組み合わせた応用能力
 3. プログラムの学習・教育到達目標に適合するハードウェア、ソフトウェア、又はその両方で構成される複雑なシステムに必要な知識
 4. プログラムの学習・教育到達目標に適合するハードウェア及びソフトウェアに関する実験を計画・遂行し、データを正確に取得・解析し、工学的に考察し、かつ説明する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力